

展示公開施設の館内環境調査報告—平成10年度—

石崎 武志・佐野 千絵・三浦 定俊

保存科学部は博物館・美術館・資料館などの文化財公開施設で、借用などの移動を伴う文化財等の展示があるときに、当該施設の館内環境調査を文化庁美術工芸課と協力して行っている。その調査については以前述べたが¹⁾、平成5年度からは各館ごとに館の規模や施工時期などについて、あらかじめ定まったフォーマットに従って整理している。平成5年度～9年度についてはすでに報告したので^{2～6)}、ここでは、平成10年度に行った館内環境調査に関して概括する。

集計方法などについては、前報と同じである²⁾。相談件数および相談件数の経時変化、相談館の地域分布、開催時期、借用計画をたてた時期、調査期間について図示する(図1～6)。また、平成10年度に報告書を書いた20館の基礎データを表1に記す。

1. 相談館全体の傾向

相談件数および相談館数については、図1のとおりである。昨年同様、博物館・美術館の新設そのものの件数が少なくなり、相談件数は昨年より減少して949件であった。

相談館の地域分布は、九州・沖縄、近畿地方の公開施設が増えた点が特徴である(図2)。

表1 調査館の基礎データ

No.	着工	コンクリート 打設完了	竣工	開館	借用時期	延べ床面積 (m ²)	展示面積 (m ²)	収蔵庫面積 (m ²)	博・美	運営団体
1.	1996.3	1996.12	1997.11	1998.3	1999.4	5,594	1,676	307	美	その他
2.	1977.8	不明	1978.3	1978.3	1999.11	1,788	1,114	117	美	町
3.	1992.10	不明	1993.12	1994.4	1998.10	2,514	1,445	不明	博	市
4.	1992.11	不明	1994.3	1994.11	1999.5	5,461	1,490	1,022	博	市
5.	1992.11	1994.2	1994.6	1994.10	1998.9	6,899	不明	96	博	その他
6.	1992.2	1993.2	1993.8	1993.11	1999.8	1,158	324	200	博	町
7.	1994.7	1995.4	1996.3	1996.5	1998.10	1,550	276	275	博	市
8.	1995.10	1996.8	1997.1	1997.8	1998.10	3,998	961	516	博	県
9.	1995.10	1996.8	1997.5	1998.3	1999.4	1,392	331	43	美	その他
10.	1995.6	1995.12	1996.3	1997.4	1998.4	1,893	170	366	博	市
11.	1996.10	1997.6	1998.3	1998.10	1998.11	3,450	430	363	博	町
12.	1996.10	1997.7	1998.3	1998.10	1999.4	2,600	619	361	博	市
13.	1996.10	1997.8	1998.6	1999.3	1999.6	12,500	3,002	4,409	美	県
14.	1996.12	1997.7	1998.5	1999.2	1999.2	8,978	1,985	1,625	美	市
15.	1996.4	1996.6	1996.9	1997.9	1998.7	不明	394	136	美	その他
16.	1996.6	1997.9	1998.5	1999.4	1999.4	4,480	485	856	博	その他
17.	1996.6	1996.10	1998.3	1998.10	1998.10	1,974	714	382	博	その他
18.	1997.1	1997.12	1998.6	1998.10	1999.4	10,700	不明	297	博	国
19.	1997.4	1997.12	1998.7	1999.4	1999.4	3,215	980	591	美	県
20.	1996.12	1997.8	1998.4	1998.10	1998.10	4,799	2,476	977	博	県

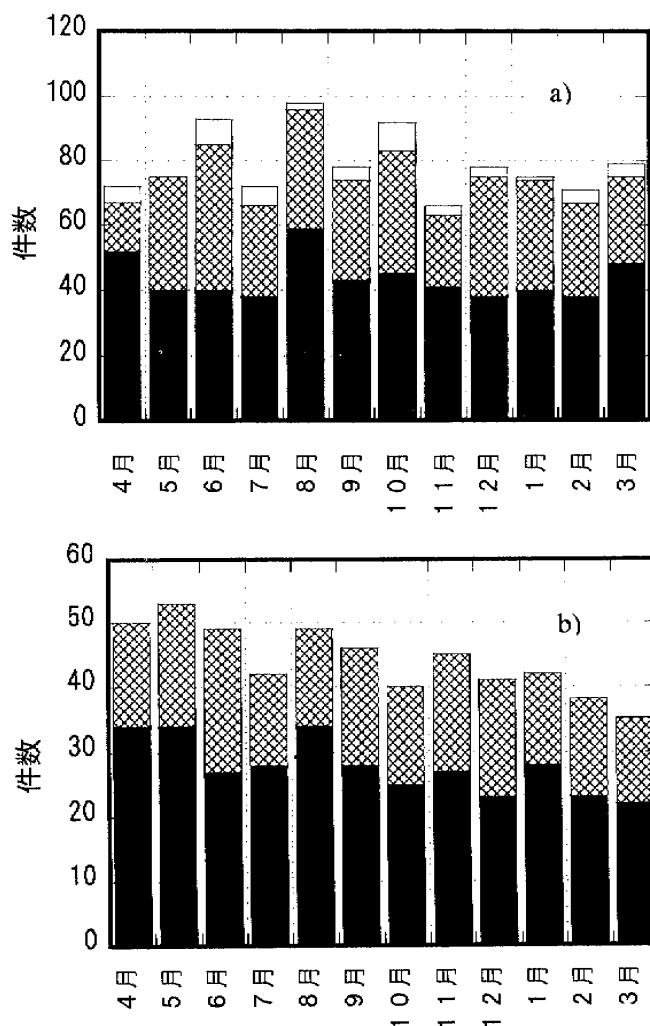


図1 保存環境に関する相談（平成10年度）

(a) 相談件数 (b) 相談館数

■ 美術館 ■ 博物館 □ その他

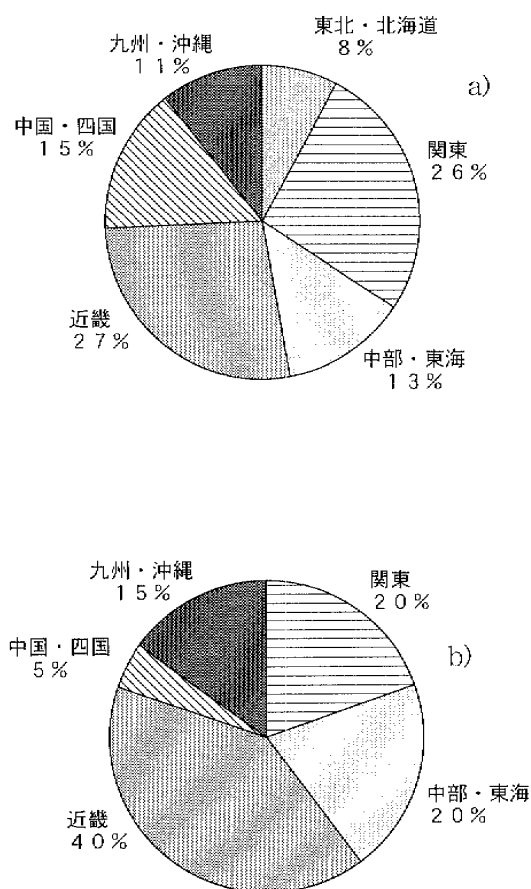


図2 相談館の地域分布（平成10年度）

(a) 相談館全体の地域分布

(b) 平成10年度館内環境調査報告書提出館20館の地域分布

2. 平成11年度館内環境調査報告書提出館20カ所の傾向

借用時期の今年の傾向は、開館から10年以上経った施設は、1件のみで、開館が平成10年以降のものが、半数以上になった。竣工から開館までの期間は、昨年同様平均6.9ヶ月であった(図4)。開館時期については、例年通り、春と秋の4月と10月が多かった。コンクリートの打設完了時期から開館まで、短い館では8ヶ月、長い館では24ヶ月であり、平均値は15.2ヶ月であった。

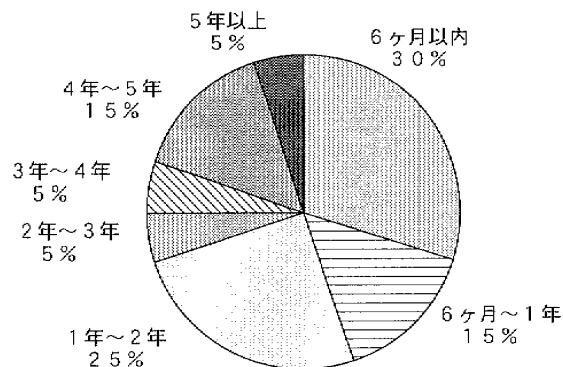


図3 開館から館内環境調査報告書を必要とする資料を借用するまでの機関

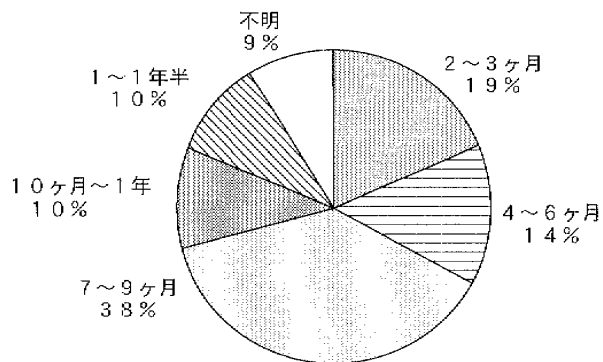


図4 竣工から開館までの期間

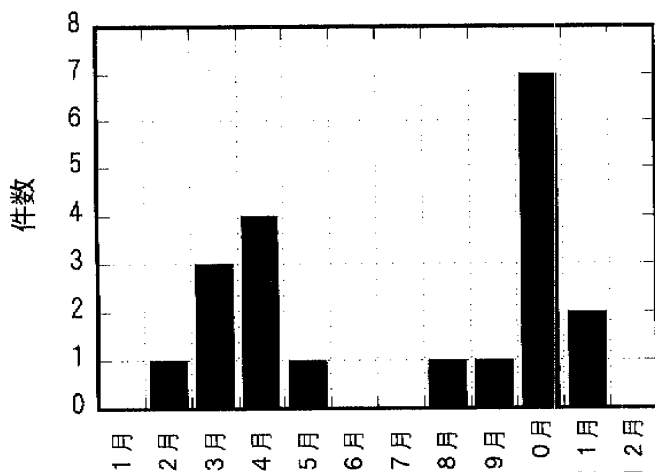


図5 平成10年度館内環境調査報告書提出20館の開館月

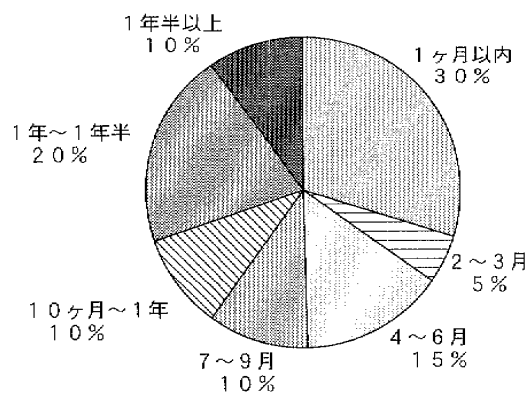


図6 環境調査期間

3. 考 察

1996年、1997年は、開館後10年以上経過した館での指定品の展示に関しての環境調査が増えた点の特徴であったが、1998年度は、環境調査報告書提出館のうち過去2年間に開館したものが半数以上で、開館後10年以上経過した館は1件のみであった。開館後、なるべく早い時期に指定品を展示したいという希望が多かった。これらの館では、なるべく短期間に、展示室、収蔵庫の空気環境を正常に持っていくこと、短期間に展示室、収蔵庫の空気環境を正確に測定することなどに関する要請が多かった。

4. 終わりに

最近では、開館後すぐに国指定文化財の借用を希望する館が増えてきている。しかし、文化財の保存の観点から考えると、十分、保存環境の状態が確認されてから、展示したほうが望ましいと考えられる。また、一方で、このような期待に対応していくために、収蔵庫、展示室の建築材料の選定、館内の空気環境の改善を促進する工法の評価、簡便かつ正確に空気環境を測定する手法の開発などに関しても研究を進めていく予定である。

引用文献

- 1) 三浦定俊, 佐野千絵, 石川陸郎: 新設博物館・美術館における保存環境調査の実際, 月刊文化財 (平成5年4月号), **355**, 34-42 (1993)
- 2) 佐野千絵, 三浦定俊: 国指定文化財展示公開施設のシーズニングについて—平成5年度展示施設の館内環境調査から—, 月刊文化財 (平成7年9月号), **384**, 4-11 (1995)
- 3) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告—平成6—, 保存科学, **35**, 74-79 (1996)
- 4) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告—平成7—, 保存科学, **36**, 98-103 (1997)
- 5) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告—平成8—, 保存科学, **37**, 153-157 (1998)
- 6) 佐野千絵, 三浦定俊: 展示公開施設の館内環境調査報告—平成9—, 保存科学, **38**, 187-191 (1999)

Annual Report on the Inspection of Museum Environment in 1998

Takeshi ISHIZAKI, Chie SANO and Sadatoshi MIURA

The Tokyo National Research Institute of Cultural Properties in collaboration with the Agency for Cultural Affairs (*Bunkacho*) advises museums on how they should design their facilities to provide an adequate environment for the exhibition of nationally designated cultural objects. This report shows the results of inspection in 1998.

The number of advice was 949 in 1998. Results of inspections were reported to 20 museums in 1998 for their exhibitions. In the past two years, the exhibitions were often planned in the old museums built over ten years earlier. However, in 1998 half of these museums inspected had been opened within the past two years and only one was opened more than 10 years ago. In order to get a good condition for exhibition and preservation of the museum objects, it is necessary to wait until the atmosphere inside the museum becomes clean. It is also necessary to develop a method to evaluate the atmospheric condition in quick and reliable way. We are now doing the research along this line.